

2014年9月
1065号

一冊の会

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)



Manyoh

FAWA21 回総会 韓国ソウル

～今こそ異文化相互理解を～

一冊の会 50周年 10月27日を目前にひかえて2014年 FAWA (アジア・太平洋国際女性連盟) の第21回国際会議が今年は10月14日から4日間に亘り韓国ソウルで開催されます。我々一冊の会からも大槻会長・小山理事長を先頭に30数名が参加・参画予定です。参加国の他団体の FAWA Sisters (姉妹) との2年ぶりの再会を心より楽しみにしております。

FAWAに参加する会員が「参画」出来るようにと勉強会を重ねておりますが、いよいよあと1カ月後に迫りました。そこで去る8月30日に馬居政幸(静岡大学教授)一冊の会副理事長を中心に国際会議に参加する心構えについて確認しました。「異文化の相互理解が大切」。個々との国の間に政治・経済・利益など多くの問題があったとしても、私達はあくまでも、女性の地位向上を推進する団体の一つとして同じ目標を持つ他国の団体の FAWA Sisters との交流を推進していくことが大切と確認しました。

10月1日には各自が担当するポジションの最終再確認があります。「帰国後は報告会・冊子作りとハードスケジュールが待っています。」と三坂事務局長から発表がありました。2年前のグアムでの総会に参加したメンバーからは「総会では積極的に海外の団体と交流を図り、交流の中で自分の足で情報をとり、自分の頭で考え異文化を理解し、両国を思い合い、尊敬しあうことの大切なことを学びました。」

平和な幸福社会建設に必要なのは人類の連帯であり一冊の会が唱える“華づなの誓い”です。団結第一・無事故で草の根の代表として精一杯取り組みましょう」と語り合いました。何度か参加している先輩メンバーの話を聞いて、今回初参加のヤンググループの椎名さんは、「期待で胸がワクワクする。自分の目で見て、感じる事が一番重要であり、FAWAの総会で、異文化を共有し、相互理解の場を経験できることは非常に有難いことです。頂いた機会を最大限に活かし努力を致します。」との感想。

更に一冊の会では「先輩は影の土台役、若者を中心にキャリアを積ませる」との方針に接し初参加の山内さんは「写真担当として身が引き締まると思います。しっかり記録を残せるように自分の役目を全うしたい」と決意を述べられました。また今回のカントリーレポート村岡清佳さんと大槻由美さんの二人がヤング代表として、英語で発表致します。カントリーレポートでは2012年グアムでのFAWA総会で4分科会の問題提起に対して2年間の日本の進展と一冊の会の実践について発表する予定です。今年は3分科会です。各自担当者が責任を持って発言し帰国後、レポートをまとめる予定です。来年は日韓正常化50周年です。その意義を込めて一冊の会親善大使のドン・アルマスも参加します。彼らの情熱的なフラメンコギターは、各国の皆さんの心を揺さぶる事でしょう乞うご期待！！

——参加する人もしない人も共に心をつなげて成功を祈りましょう。——

文責 櫻華塾 光 G 村岡清佳 ・雪 G 中本和伸